

5 国際化の状況

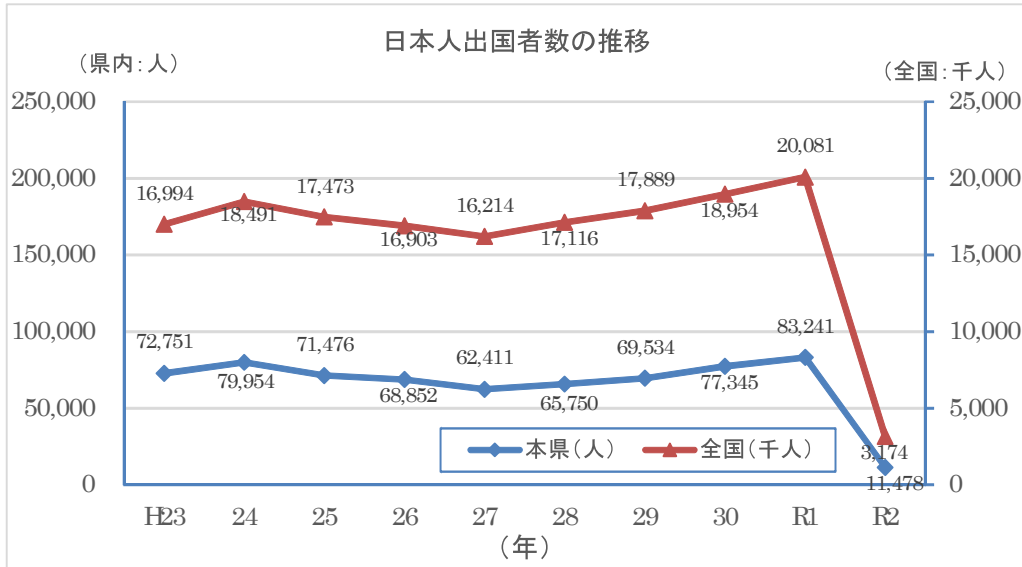
(1) 交流等の状況

① 交流状況

- ア 県の交流
- (ア) ジョージア州 昭和41年に姉妹盟約を締結
 - (イ) 香港 昭和55年から交流会議を開催（隔年）
昭和60年から県職員が駐在（ジェトロ香港センター内）
平成11年に香港かごしまクラブを設立
平成14年にかごしま香港クラブを設立
 - (ウ) シンガポール 昭和57年から交流会議を開催（隔年）
平成11年にかごしまクラブシンガポールを設立
 - (エ) 韓国・全羅北道 平成元年に友好協力の推進に関する共同宣言調印
平成6年から交流会議を開催（隔年）
平成11年に全羅北道かごしまクラブを設立
平成11年に第4回鹿児島県・全羅北道交流会議の開催に併せて、
「友好協力の推進に関する共同宣言」調印10周年記念行事を開催
平成21年から交流協議会へ移行（隔年）
令和元年に第6回鹿児島県・全羅北道交流協議会の開催に併せて、
「友好協力の推進に関する共同宣言」調印30周年記念行事を開催
 - (オ) 中国
 - ・ 江蘇省 平成10年から交流協議会を開催
平成20年に「鹿児島県と江蘇省の友好交流の促進に関する協議書」
に調印
 - ・ 上海 平成9年から県職員が駐在（ジェトロ上海センター内）
平成22年に「社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所（鹿
児島県上海事務所）」を開設
 - ・ 北京 平成25年に清華大学と包括協定（MOU）を締結
 - (カ) 英国 平成30年にロンドン・カムデン区及びマンチェスター市
と友好協定を締結
- イ 市町村の交流 20市町が海外の26都市等と姉妹・友好盟約を締結
- ウ 民間の交流
- (ア) 公益財団法人鹿児島県国際交流協会や12市町国際交流協会の設立
 - (イ) 民間団体等が国際交流・協力活動を実施

② 出国者数の推移

令和2年における本県の出国者数は、11,478人であり、前年に比べ71,763人減少している。
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の出国者数は全国的に大幅に減少した。

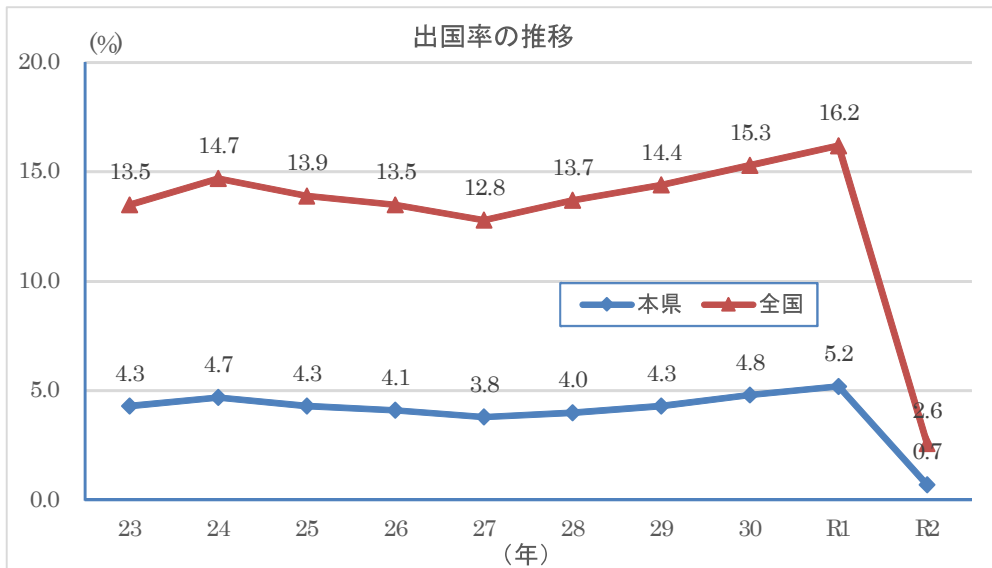


資料：法務省「出入国管理統計年報」

③ 出国率の推移

本県の出国率（人口に占める出国者の割合）は、全国平均を大きく下回っており、令和2年は全国43位の0.7%となっている。

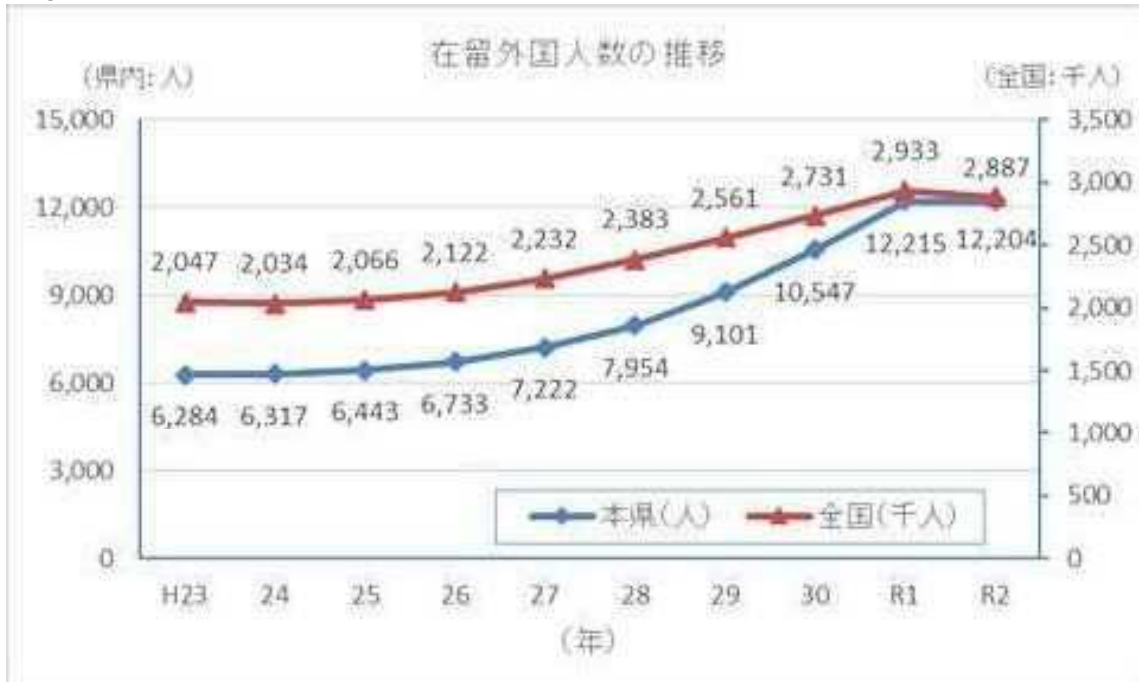
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の出国率は全国的に大幅に減少した。



資料：法務省「出入国管理統計年報」

(2) 在留外国人数等の状況

① 在留外国人数の推移

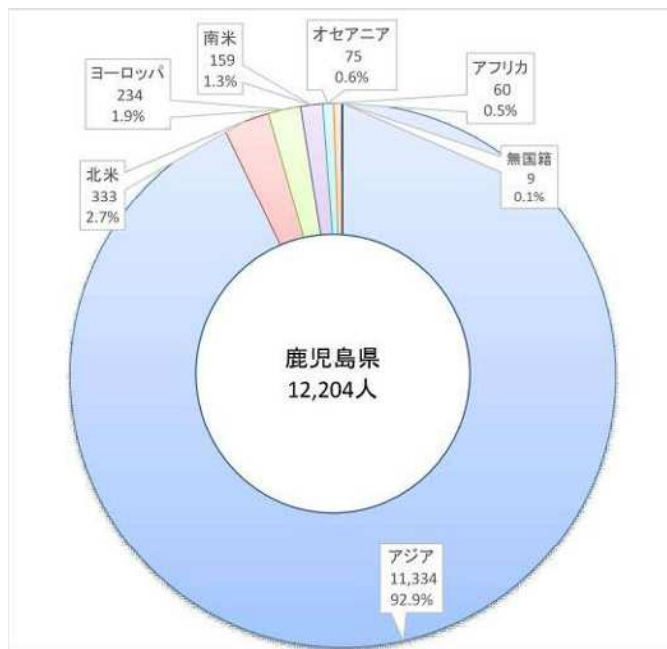


資料：法務省「在留外国人統計」（各年12月末現在）

(注) 平成23年までは外国人登録者数，平成24年以降は在留外国人数を掲載しておりそれぞれの対象範囲が異なるため，単純に数値を比較することはできない。

② 在留外国人地域別人数の割合

全体の92.9%がアジア地域の出身者となっており，国籍別にみると，ベトナムが最も多く(5,198人)，次いで中国(2,060人)，フィリピン(2,009人)，インドネシア(564人)，韓国(485人)となっている。



資料：法務省「在留外国人統計」（令和2年12月末現在）

本県の大学等に在籍する留学生は、令和3年度は504人となっている。国（地域）等別では、中国が314人と最も多く、次いでベトナム、韓国の順となっており、全体の94.6%がアジア地域からの留学生である。

(単位：人)

年 度 国(地域)等	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
中 国	268	243	238	229	229	229	288	332	359	314
ベ ト ナ ム	24	22	23	27	35	44	62	66	65	55
韓 国	49	41	43	48	37	38	38	55	41	40
台 湾	26	25	19	29	27	27	30	35	18	4
インドネシア	31	23	23	25	19	21	19	17	11	9
マレーシア	18	20	20	11	10	9	9	10	10	12
バングラデシュ	13	7	8	14	19	22	18	18	16	14
フィリピン	8	5	4	4	5	2	3	1	2	1
タ イ	3	3	4	6	4	3	6	4	6	5
アジア諸国(その他)	29	36	31	28	26	36	40	39	34	23
そ の 他	46	47	40	40	41	40	22	48	24	27
計	515	472	453	461	452	471	535	625	586	504
内 県内住	476	443	431	443	433	443	509	594	564	484
訳 県外住	39	29	22	18	19	28	26	31	22	20

資料：観光・文化スポーツ部資料

(注) 1 各年5月1日現在

2 県外在住の数字は、鹿児島大学に籍を置きながら、他県の大学で学んでいる大学院
連合農学研究科の留学生等の人数である。